

令和3年度市町老連会長研修会

令和3年7月7日（水）～8日（木）シーサイドホテル舞子ビラ神戸に於いて、令和3年度市町老連会長研修会を開催、市町老人クラブ連合会の会長ら36名が参加しました。

【第1日目】

(1) 県老連説明

「県老連財務改革の方向性（案）」について
県老連本山専務理事兼事務局長



会長あいさつ

(2) 老人クラブ活動 事例発表

①加古川市老連 西 千歳 氏
「どないや訪問」

②西脇市老連 吉田 明生 氏

「コロナの時代にあつての老人クラブ活動」



事例発表

(3) グループ討議

「今求められる老人クラブ」

8つの小グループに分かれ、自らの市町老連・単位クラブの活動の現状等を紹介。新型コロナウイルスによる活動制限・自粛など、人と人とのふれあいを基礎とする老人クラブ活動にとって未曾有の事態にあつて、老人クラブ活動の活性化や会員増強に向け、今求められる老人クラブの活動について議論しました。全体会では、グループ討議の概要をグループごとに報告書にとりまとめ発表しました。



グループ討議

【第2日目】

(1) いきいきクラブ体操

(2) ニュースポーツ実習「ボッチャ」

NPO法人フレンドリー情報センター 指導員 西尾 和久 氏
ボッチャを実際にプレイしながら、そのルールや方法について学びました。



実習：ボッチャ

(3) 講演

『コロナに負けない心と身体』

健康運動指導士 田口 たえ子 氏
シナプソロジーメソッドを活用した心と体の機能改善について講演と実習を行いました。



講演『コロナに負けない心と身体』